

令和8年
冬号

橋

みなさまとの懸け橋に

特集

健康診断

石切生喜病院 健診センター
部長・健診センター長 木村 尚憲 p13・14

2026年
年頭所感



青森県 鶴の舞橋

医療コラム

知っておきたいヘリコバクター・ピロリ菌のこと

石切生喜病院 消化器内科 部長 末包 剛久 p9・10

年頭所感	医療法人藤井会 理事長	藤井 弘史	02
	石切生喜病院 病院長	平田 一人	03
	大東中央病院 病院長	梶山 雄司	04
	藤井会リハビリテーション病院 病院長	陳 鐘伯	05
	香芝生喜病院 病院長	奥地 一夫	05
	枚岡病院 病院長	荒木 良治	06
	深江クリニック 院長	中村 敏子	07
	住道クリニック 院長	佐井 吉永	07
	藤井会東大阪看護学校 学校長	今西 政仁	08
医療コラム 知っておきたい ヘリコバクター・ピロリ菌のこと	石切生喜病院 消化器内科 部長	末包 剛久	09・10
いよいよ受験シーズン到来！	藤井会東大阪看護学校 事務長	奥田 賢司	11
職種紹介No.39 透析治療の「安全」と「安心」を 担う二大プロフェッショナル	深江クリニック 臨床工学室 副主任	長谷川 誠	12
特集 健康診断	石切生喜病院 健診センター 部長・健診センター長	木村 尚憲	13・14
香芝生喜病院認定看護師市民講座開催 救急車ってどんな時に呼んだらいいの？	香芝生喜病院 手術室 主任	小村 麻里子	15
かしばのしごと展2025	香芝生喜病院 看護部 部長	仲 久美	16
薬局通信No.80 調剤支援機器のご紹介	石切生喜病院 薬剤室 室長代行	橋本 一誠	17
冬が旬 青菜	大東中央病院 管理栄養士	入来 和花	18
リハビリテーション室を紹介します！	石切生喜病院 リハビリテーション室 室長	渡り 祐典	19
保育園 運動参観	にこにこ保育園	吉岡 奈央	20
キラッとスポット No.65 淡路島	法人本部 広報課	志智 美波	21・22
オンコロ広場 No.18 石切生喜病院における 高齢肺癌患者さまの治療	石切生喜病院 呼吸器腫瘍内科 部長	平島 智徳	23
Fujiicco	法人本部 広報課		24
FUJIIKAI TOPICS	第27回 大東わからん会 開催	大東中央病院 総務課	25
	ハンズオンセミナー／第3回 なにわ消化器外科治療セミナー ～専門医取得を目指した手術手技～		
	無料 石切生喜病院 出張市民講座 開講		
	第7回 石切地域病診連携の会	法人本部 広報課	26
	第3回 石切生喜病院 救急ホットラインカンファレンス		
	大東中央病院 安全祈願祭		
	藤井会東大阪看護学校 戴灯式		
リレー随筆	法人本部 経理部	I・T	26



医療法人藤井会 理事長 藤井 弘史

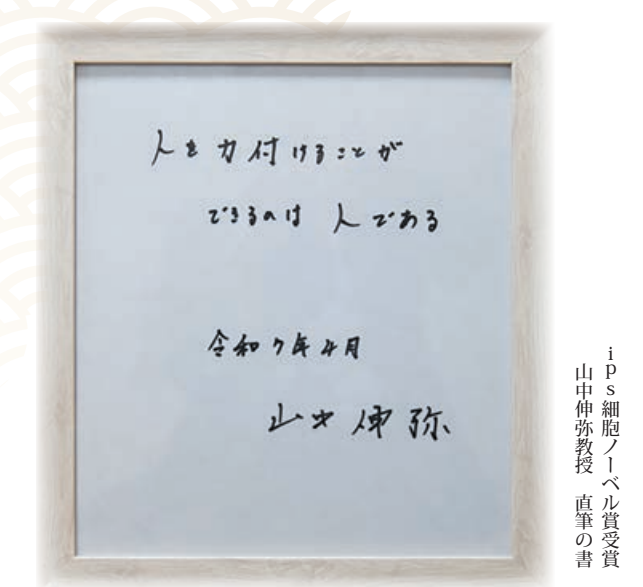
人を力付けることができるのは人である

新年あけましておめでとうございます。皆様方に於かれましては、今年の目標は如何なる方向で定められましたでしょうか。目標が前向きで建設的なものであることを願っております。

私どもの法人では、昨年の4月に新石切駅の近くに看護師および准看護師を養成する藤井会東大阪看護学校を開校しました。開校記念として、2012年にノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学 iPS 細胞研究所名誉所長の山中伸弥教授にご講演を賜ることができました。その際に、第一期の入学生とその保護者ら、そして学校関係者らに頂戴したのが「人を力付けることができるのは人である」のお言葉です。心に染み入る至極名言であると思い、山中教授に無理を願い出て色紙に書いていただきました。

人は病気をした時には何かと弱気になるものであります。特に、ガンや致死率が高い急性疾患、慢性疾患であっても難治性の疾患に罹患した時には更にこの傾向が顕著であるように感じられます。このような時にこそ、山

中教授の名言の有難みを痛感するのではないのでしょうか。



私が医師を志した契機の1つが、昭和の俳優の一人として名が刻まれる石原裕次郎の急性大動脈解離で手術が行われた時のワイドショーでのコメントであります。コメントの内容とは、昭和56（1981）年当時、上行大動脈が裂けてしまっている急性大動脈解離という疾患の手術死亡率は50%、社会復帰率は10%、残りの40%は寝たきりといった惨憺たる手術成績のことでした。このような手術成績であったのにも拘わらず、手術が行われた理由は急性大動脈解離の非手術患者では

発症から2日間で50%、2週間以内に90%以上が死亡するという経過をたどるため、手術だけが生存するための選択肢であったからです。このコメントを聞いて、大動脈解離という疾患に挑みたいという気持ちが医師を志すことを後押ししました。少しでも手術成績の向上に貢献し、生命の危機に陥った患者さまを勇気づける存在になればと思った時の気持ちを山中教授の言葉を聞いて思い出しました。私自身は、初心に還って少しでも社会に貢献できる1年にしたいと思っております。

この社会、人それぞれの考えはあるとは思いますが、お互いがお互いに力付け合うことで、より達成感に満ちた人生を送ることができるのではないかと思います。皆様方に於かれましては、ご家族や周囲の人たちの存在に感謝をして、お互いに力付け合いながら、実り多き1年をお過ごしいただければと願っております。



石切生喜病院 病院長 平田 一人

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、地域の皆さまに格別のご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。石切生喜病院は、「愛情・信頼・奉仕」の理念のもと、地域の皆さまに安心と希望を届ける医療を目指してまいりました。本年も、地域に根ざした急性期医療の中核病院として、その責任を胸に歩みを進めてまいります。

令和八年は「午年（うまどし）」です。古

来より、午は「活力」「前進」「実り」を象徴すると言われております。力強く駆け抜ける馬のように、私たちも医療の現場で一人ひとりが躍動し、より良い医療の実現に向けて挑戦し続けたいと思っております。変化の激しい時代にあっても、立ち止まることなく前へ進むこと——それが、患者さまや地域社会に寄り添う医療人としての使命であると考えています。本年は、特に三つの柱を軸に取り組みを進めてまいります。

第一に、「安全で質の高い最新の地域医療の提供」です。救急・手術・がん・透析・リハビリテーションなど幅広い診療科・部門において、さらに質を高めた医療提供体制を整えてまいります。特に、「困ったときの石切さん」という標語を掲げ、地域の皆さまが緊急時にも安心してご来院いただけるよう、最新医療機器の活用とスタッフの連携を強化します。



第二に、「地域包括ケアの推進」です。退院後の生活や在宅医療、介護支援において、地域の医療機関や介護施設とより緊密に連携し、切れ目のないサポート体制を整えます。

第三に、「職員が成長し輝ける職場づくり」です。教育体制の充実や働きやすい環境整備を進め、チーム全体で互いに支え合い、学び

大東中央病院 病院長 梶山 雄司

新年明けましておめでとうございます。

新病院南棟が完成し、昨年8月9日（土曜日）～11日（月曜日・山の日祭日）の3日間で旧病院（北棟）の南棟移設が完了しました。暑い時期ではありましたが入院患者さまも無事に移動していただきました。この間外来診療・救急受け入れを中止しましたのでご迷惑をおかけしました。8月12日（火曜日）より通常診療を南棟で開始しました。外来・入院患者さまの動線などをあらかじめ十分想定して準備しましたが、実際に稼働してみると想定外のこともあり、当初は患者さまにはご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

現在外来・入院診療に修正を行いつつ運営は軌道に乗っております。老朽化した北棟に比べて南棟は採光も良く明るく設備も新くなりましたので患者さまにはご満足いただけるものになったかと思っております。上層階では東面からは生駒山全容が、西面からは大阪市内がよく見わたせます（「あべのハルカス」が遠くに見えます）。

合う文化を育ててまいります。

今年の干支・午のように、力強く、たくましく、そしてしなやかに。

石切生喜病院は、地域の皆さまにとって「生きる喜び」を感じられる場であり続けることを目標に、職員一同、心を合わせて進んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

今後の新病院の計画です。昨年11月より北棟の耐震工事・改築が開始されております。北棟工事中は再び近隣の皆様には何かとご迷惑をおかけしますこととお詫び申し上げます。本年11月には北棟工事が完了、南棟と北棟の連結が完了の予定です。

北棟には藤井会の人工透析施設である「住道クリニック」と同じく藤井会「北河内藤井病院」と合併いたします。これにより入院病床数162床、透析ベッド89床を有す急性期病院として生まれ変わります。

今後も変わらず地域の皆様の健康をお守りすべく努力してまいります。よろしくご指導賜りますようお願い申し上げます。



藤井会リハビリテーション病院 病院長 陳 鐘伯

新年あけましておめでとうございます。

令和8年の新しい年を迎え、皆さまに心よりごあいさつ申し上げます。昨年は当院に多くのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。私たち職員一同、今年も気持ちを引き締め、患者さまの回復と健康のために力を尽くしてまいります。

昨今、健康寿命の延伸や地域包括ケアの推進が重視されるなか、リハビリテーションの重要性は年々高まっています。急性期治療を終えた方が、再び住み慣れた地域で安心して生活を続けていけるよう、当院は回復期医療の拠点として役割を果たしています。今年も、より質の高いリハビリを提供し、「できること」を一つずつ増やしていく支援を続けてまいります。当院では、患者さまがよりよいタイミングでリハビリを始められるよう、リハビリを365日休まず行っています。医師や

看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など、さまざまな職種がチームとなり、一人ひとりに合わせたプログラムを作成しています。食事やトイレ、歩行など、日常生活に欠かせない動作が少しずつできるよう、毎日一歩ずつ積み重ねることを大切にしています。

昨年も、多くの患者さまが懸命にリハビリに取り組み、「また歩けるようになった」「家で過ごせるようになった」といった嬉しい声を聞くことができました。患者さまの笑顔は、私たちにとって大きな励みであり、今年もそのお手伝いができることを願っております。

本年も、地域の皆さまに信頼され、安心していただける病院であり続けるために、職員一同努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

皆さまにとって、本年が健康で穏やかな一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

香芝生喜病院 病院長 奥地 一夫

あけましておめでとうございます。

今年2026年は丙午（ひのえうま）の年で、火の力が重なる情熱と行動力を示す干支であると言われております。また、本年4月より香芝生喜病院は開院から10年目を迎えることとなります。節目の年は干支のように挑戦と飛躍の年となることを願っております。

さて、昨年2025年は大阪・関西万博が夢洲で開催されました。電子チケットやキャッシュレス決済が導入されて、スマホ利用に慣れていない高齢者にはややハードルの高い環

境でしたが、多くの人々が来場されたことです。こういったイベントを体験したい私は、家族と共に数回訪れました。暑さ対策および水分補給を行いながら、炎天下の広大な会場を歩くことが必須で、何を楽しむにも体力と気力が必要と実感した次第です。

また、昨年11月には、高市早苗内閣総理大臣が誕生し、日本政治にとって大きな転換点の年となりました。奈良県は今まで総理大臣を輩出したことがなく、県内でも関わりの深い橿原市では祝賀ムードが大きく盛り上

がっています。高市氏は未来への不安を希望に変え、日本列島を再び豊かにすると所信表明されており、物価と賃金の動向をふまえた積極財政への舵取りがなされるとのことです。これまで診療報酬は実質マイナス改定が続いており、病院経営は危機的状況になっています。高市氏は物価上昇に見合った診療報酬の前倒しプラス改定にも言及されており、医療界としては期待をせざるをえません。

香芝市では、近隣のA病院が本年春の新築移転を見据えて、救急搬送を多く受け入れて

いる状況があります。このことは消防からの当院への救急照会件数の減少にも繋がっています。これに対抗する意味で、昨年より救急搬送受け入れを強化する方針を病院全職員で共有しております。今年は当院にとって試練の年となるかもしれませんが、藤井会の皆様の力を借りながら引き続き最善を尽くして行きたいと考えておりますので、本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



枚岡病院 病院長 荒木 良治

皆様、明けましておめでとうございます。

今年の干支は丙午（ひのえうま）、丙は「火の陽」で午は「夏の盛り」の意味でどちらも火を表し強いエネルギーを持つ年だそうです。かつては丙午生まれの女性は気が強く夫の命を縮めるなどという迷信がまことしやかに語られ、60年前も前後の年と比べて出生数が激減しました。私の会社員時代には何名かの丙午の女性と一緒に仕事をしましたが、みな明るく前向きな性格で頭の回転も速く、聡明な方ばかりであったことを思い出します。

さて、昨今の大幅な物価上昇と金利上昇の一方で国民の所得増がそれに追いつくことができず、厳しい状況が続いています。医療の世界を見ても長年診療報酬が低く抑えられ、仕入れにかかる消費税も価格転嫁できず、公的私的を問わず病院・診療所の経営が全国的に悪化し危機的な状況となっている事は皆さんもご承知の通りです。

そんな中で昨年我が国初の女性総理が誕生

し、これまでとは一変して積極財政を掲げています。その中でも高市総理自身、自らが関節リウマチで片膝は人工関節であることを公言し「アクテムラ」が著効したと言っておられます。夫の山本拓氏は昨年脳梗塞を発症し今も右半身にマヒが残っており高市氏が介護をしているそうです。医療や介護の現状に理解のある方ですので、今後は野党や財務省・厚生労働省と前向きな議論を進めていただき、是非とも診療報酬改定や助成金・補助金・給付など様々な形での支援を期待したいと思います。

保険診療の先行きはやや不透明ですが、藤井会ではグループ全体で急性期・回復期・慢性期の入院診療と診療所や訪問看護・デイサービスから看護教育まで幅広くカバーしており、グループの力を結集することで今後も発展し続けるものと確信しております。

今年一年の皆様の一層のご活躍を心より祈念申しあげます。今年もガンバロー！

深江クリニック 院長 中村 敏子

新年、明けましておめでとうございます。

皆様が、健やかに新しい年を迎えられたことを、心よりお慶び申し上げます。

深江クリニックは、地域在住の方々が通院されている透析クリニックです。安心して通っていただけるよう、「明るく、優しく、正しく」を心がけ、スタッフ一同で協力しながら、透析医療に取り組んでおります。

昨年は新しい試みとして、石切生喜病院のご協力のもと、骨折を予防し脳血管障害を防ぐことを目的に、骨密度測定並び頸部超音波

検査を開始いたしました。そして、「骨折の危険性の高い骨粗しょう症」と診断された場合には、治療も行っております。また、頸動脈硬化症・狭窄症に対しては、よりきめ細かく、内服薬の調整など行っております。引き続き、腎臓リハビリテーションにも取り組んでおり、患者さまお一人おひとりが、その持てる能力を伸ばしておられ、伸びしろの大きさに驚き、尊敬の念を抱いております。これからも患者さま達の可能性を引き出すべく、努力してまいります。

透析患者さまの多くは易感染性であり、多くの合併症を有しておられ、急に状態が悪化することがあります。昨年も、法人内の多くの施設にて、外来や入院で大変お世話になり感謝しております。

本年も患者さまたちがご自身の生を享受され、お元気で楽しく過ごしていただけるよう、スタッフ一同、尽力してまいります。

本年も、どうぞ、宜しく願い申し上げます。



住道クリニック 院長 佐井 吉永

新年あけましておめでとうございます。

天候の変動がはげしい昨年でしたが、皆様体調におかわりはありませんでしょうか？

天候以外にも、国内政治やや海外情勢も引き続き安定していない状況で、米など物価高も続き日常生活におおきな影響が出ているなか、医療費に関しても、一部の薬を保険外にしていくなどいろいろな議論が出ており、少しでも早く日常生活がよりよくなるような状

況になることを願っております。

当院では、今年も血液透析治療をはじめ患者様皆様のお役に立てるよう、スタッフ一同力をあわせてまいります。また法人グループである石切生喜病院や大東中央病院、香芝生喜病院、枚岡病院にも引き続きご協力をいただき、できるだけ頑張っておりますので、どうかよろしく願い致します。

藤井会東大阪看護学校 学校長 今西 政仁

新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。本校は2025年に開校し本年4月に一周年を迎えることとなりました。この記念すべき年を迎えられるのは、学生、保護者、実習先の施設の皆さま、藤井会の関係者の方々の温かいご支援とご理解のおかげであり、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

本年は午年です。午年は情熱や努力を象徴する年とされています。馬という動物は成長のスピードが非常に早く、短い期間に多くの苦難を乗り越えて心身ともに成熟を遂げますが、私たちもまた、この一年を新たなステージへの挑戦の一步と捉え、さらなる発展を目指していきたいと考えています。

昨年は国内の政治情勢に大きな変化が生まれた一年となりました。選ばれし者に対する期待は膨らんでいます。今年は本校が、選ばれる学校とならなければなりません。そのために学生たちには、自ら考え行動する力を養い、他者と協力しながら社会に貢献できる人材へと成長してほしいと願っております。一方で、私たち教職員も変化の激しい時代に対応できるよう、常に学び続ける姿勢で取り組んでいく所存です。

最後になりましたが、全ての関係者の皆さまにとって2026年が素晴らしい一年となりますよう祈念いたします。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。





知っておきたい ヘリコバクター・ ピロリ菌のこと

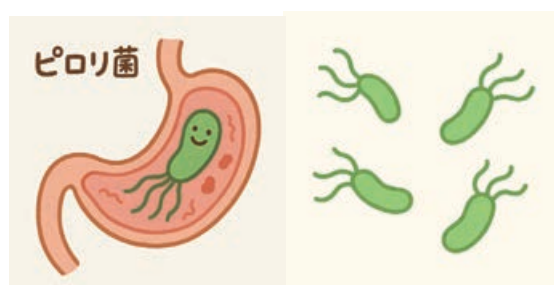


石切生喜病院 消化器内科
部長 末包 剛久

胃の健康に深く関わる「ヘリコバクター・ピロリ菌（以下、ピロリ菌）」という名前を耳にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。ピロリ菌は胃の中にすみつく細菌で、胃炎や胃潰瘍、さらには胃がんの原因にもなることがわかっています。今回は、このピロリ菌について、知っておきたい基礎知識をご紹介します。

ピロリ菌ってどんな菌？

ピロリ菌は、胃の粘膜に生息するらせん状の細菌で、強い酸性環境の中でも生き延びる特殊な性質を持っています。日本では、特に衛生環境が整っていなかった時代に幼少期を過ごした世代を中心に感染率が高く、50 歳以上の方では約半数が感染しているとされています。



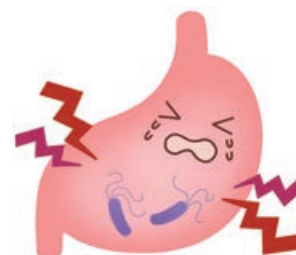
どうやって感染するの？

主な感染経路は、幼少期に家族を介して起こる「経口感染」とされています。井戸水が利用されていた時代には、水を通じた感染も多かったといわれています。

家族内感染の例としては、親が噛み砕いた食べ物を子どもに与える「口移し」や、同じ箸・スプーンの共有などが挙げられます。幼少期に感染した場合、自然に消えることはほとんどなく、感染は長期間持続します。なお、大人になってから新たに感染することはまれです。

感染するとどうなるの？

ピロリ菌に感染すると、慢性的な胃炎を引き起こします。炎症が続くことで胃の粘膜が徐々に弱り、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、さらには胃がんのリスクが高まることがわかっています。



実際、胃がん患者の多くがピロリ菌に感染していたとの報告もあり、ピロリ菌は胃がんの主要なリスク要因と考えられています。

ピロリ菌の検査法

ピロリ菌の検査には、呼気検査、血液や尿の抗体検査、便中抗原検査、内視鏡検査と併用する迅速ウレアーゼ試験など、いくつかの方法があります。いずれも比較的負担が少なく、安心して受けられる検査です。

当院では、健診のオプションとして血液抗体検査を実施しています。また、胃の痛みや不快感が続く方、ご家族に胃の病気が多い方は、一度消化器内科外来でピロリ菌検査についてご相談ください。

感染していたらどうする？

感染が確認された場合は、「除菌治療」を行います。これは、胃酸の分泌を抑える薬と 2 種類の抗菌薬を 1 日 2 回、7 日間服用する方法です。除菌の成功率は高く、安全性も確立されています。

除菌によってすべての胃の病気が防げるわけではありませんが、胃がんのリスクを下げる効果が期待できるため、多くの専門家が推奨しています。

除菌後も油断は禁物

除菌が成功しても、すでに胃の粘膜にダメージがある場合は、胃がんのリスクが完全になくなるわけではありません。また、除菌治療を行った時点で、ごく小さながんがすでに存在しており、除菌後の内視鏡検査で発見されるケースもあります。

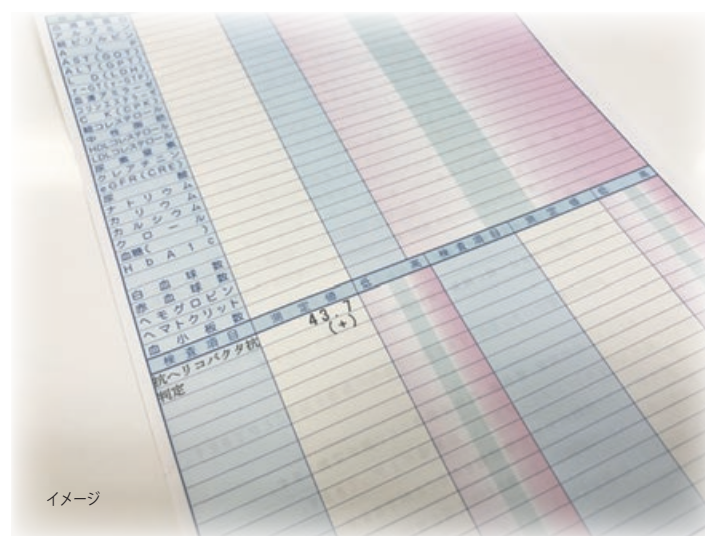
そのため、除菌後も定期的に内視鏡検査を受けることが大切です。さらに、除菌後に胃の不調が続く場合には、早めに医師へご相談ください。



まとめ

ピロリ菌は、私たちの胃の健康に大きく関わる存在です。感染していても自覚症状がないことが多く、気づかいうちに胃の病気が進行してしまうこともあります。

当院では、ピロリ菌検査や内視鏡検査を随時受け付けています。ご心配な方は、どうぞお気軽にご相談ください。



イメージ



藤井会東大阪看護学校では令和7年11月1日(土)に学校見学会を開催し、保護者を含む35名の方にご参加いただきました。江崎副校長より「看護師の仕事について」「看護師と准看護師の違い」「看護師になるには」「本校の概要、教育理念、教育目的、実習施設」「入学試験」などについてガイダンスを行い、安心して学生生活を送るための医療法人藤井会の奨学金制度や職員家族支給型奨学金および入学試験特別優秀者支援型奨学金などを含めた経済的支援の説明を行いました。

続いて校内の施設見学を実施し、最後に個別相談会を行いました。参加者の皆さんは最新設備や実習室の大きさに驚かれ、相

談会では入試問題の傾向や面接試験での注意事項、さらには奨学金に関する質問が多く寄せられました。中には本校に「絶対入りたいです」としっかりアピールされる方も複数おられました。

また、令和8年度入試もはじまり11月15日(土)には看護学科の指定校推薦入試、推薦入試(倍率1.4倍)、社会人入試(倍率1.9倍)を実施します。さらに准看護学科の推薦入試、看護学科・准看護学科の一般入試(一次)(二次)も順次行われます。

本校は今後も「地域で活躍できる人材の育成」を目指し、教職員一同取り組んでまいりますのでよろしくお願いいたします。



透析治療の「安全」と「安心」を担う 二大プロフェッショナル

深江クリニック 臨床工学室 副主任 長谷川 誠



深江クリニックの透析医療は、高度な専門知識を持つ看護師と臨床工学技士(CE)の密接な連携によって支えられています。両職種が「技術」と「ケア」の両輪となり、患者さまの安全と快適な透析ライフを保証します。

看護師：

高度な健康管理と寄り添うケア

看護師は、透析中のバイタルサイン観察や管理といった医療行為に加え、患者さまの身近な相談役です。日々の体調変化や生活習慣の悩みまで丁寧に傾聴し、多職種連携の中心となります。特に、「腎臓リハビリテーション指導士」による運動療法や、「フットケア指導士」を中心とした足病管理により、透析治療に伴う合併症予防やQOL(生活の質)の向上に専門的な視点から取り組んでいます。



臨床工学技士(CE)：

治療の質を支える知識と技術

CEは、透析機器の操作と保守管理を担う医療機器のプロフェッショナルです。最新機器の準備から透析条件の検討、そしてクリニックの水質管理に至るまで、治療の根幹を技術面から支えています。透析技術認定士、認定血液浄化臨床工学技士、透析技能検定2級の資格者が在籍し、高度な知識に基づいたシャントエコーの実施や、厳密な機器管理により、安心・安全な治療を提供します。

「技術」と「ケア」、それぞれのプロフェッショナルが力を合わせることで、私たちは患者さまに「深江クリニックなら大丈夫」と感じていただける医療環境を提供し続けます。



健康診断

石切生喜病院 健診センター
部長・健診センター長 木村 尚憲

1. 人間ドック3コース (標準・生活習慣病・お手軽健康チェック)

		お手軽健康	生活習慣病	標準
血液検査	貧血・肝/腎/脂質/血糖など	●	●	●
	感染症		●	●
	腫瘍マーカー (CEA)			●
検尿 (*沈渣あり)		●	● (*)	● (*)
便潜血検査				●
眼科検査 (眼科医による)	眼底/眼圧検査		●	●
レントゲン	胸部 (直接)	●	●	●
生理検査	心電図	●	●	●
	肺機能検査			●
	腹部超音波検査			●
消化管検査	上部消化管内視鏡検査		●	●

*3コースとも身体計測・血圧・視力/聴力検査あります。

オプション検査も充実しております。脳卒中予防セット、動脈硬化に対する頸動脈超音波検査・ABI (下肢動脈硬化) 検査、骨密度検査、胸部CT検査など目的に応じて選択・追加していただけます。

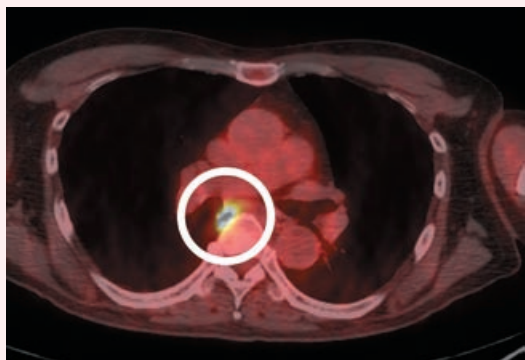


2. PET-CTがん検診 *1

がんの特化した検診で体への負担が少なく、一度の撮影で全身のがんの早期発見が期待できます。

		PET 基本	PET 総合
血液検査	貧血・肝・脂質・腎・血糖など	●	●
	腫瘍マーカー	●	●
検尿 / 沈渣		●	●
PET-CT 検査	頭部～大腿部まで全身	●	●
MRI 検査	頭部 (脳・脳血管) 検査		●
	骨盤部 (膀胱・前立腺・子宮・卵巣)		●
超音波検査	頸部 (甲状腺)		●
	腹部 (肝・胆・膵・腎・脾など)		●
便潜血検査	2 回法	●	●
喀痰細胞診検査	3 回法	●	●

*PET-CT総合検診では、見えにくいとされる部位のがん検出に対して超音波・MRI検査を行っています。



*1 PET-CT：通常の肺がん検診（胸部レントゲン検査）では描出困難ながん病変も検出（○印）

当院健診センターの特徴

多種・多様な健診を受けられる体制を整えることで、年齢や性別などによって希望する必要な健診を受けて頂けます。現在、病氣治療などなく健康であると考えられている方、基礎疾患（高血圧・糖尿病・脂質異常などの生活習慣病・脳心血管障害など）や家族歴（生活習慣病・がんなど）のある方に対してもそれぞれに適切に対応した健診を受けていただけます。

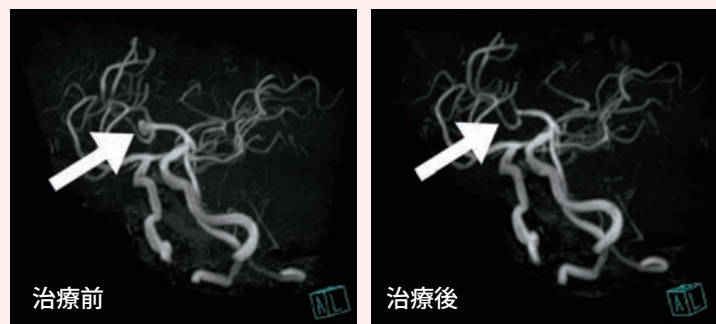


3. 専門ドック：脳ドック*2・心臓ドック・レディースドック

レディースドック	
乳がん検診	乳腺超音波検査
子宮がん・卵巣がん検診	腫瘍マーカー、子宮頸部 / 体部細胞診、経膈超音波 (卵巣がん)
心臓ドック	
血液検査・検尿検査	貧血・肝機能 (胆道系)・脂質・腎機能・血糖・BNP、検尿
画像検査	心電図・胸部レントゲン検査・心エコー検査・ABI 検査 (動脈硬化)
脳ドック A (頭部画像検査のみ)	
画像検査	頭部 MRI/MRA (脳・脳血管) 検査
脳ドック B	
血液検査	貧血・肝機能・脂質・血糖、検尿
画像検査	心電図、頭部 MRI/MRA (脳・脳血管) 検査、頸動脈エコー検査

*レディースドックは専門医（婦人科）による診察・検査（細胞診・エコー検査）を受けて頂きます。

*心臓ドック・脳ドックは身体測定・血圧測定および専門医（循環器内科・脳外科）による診察・検査結果説明を受けて頂きます。



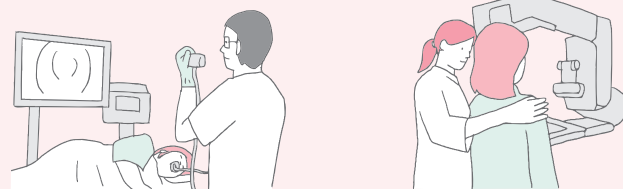
*2 3T (テスラ) MRI装置による頭部MRA検査画像：脳動脈瘤 (治療前・治療後) (従来の1.5Tと比較し脳血管の描出能力に優れ小さな脳動脈瘤も描出可能) (→印)

4. 特定健診・東大阪市がん検診 (5大がん検診)

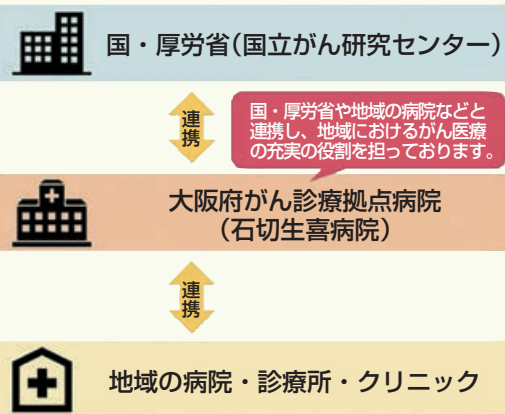
5 大がん検診	検査	対象年齢など
肺がん検診	胸部レントゲン検査	40 歳以上、1年に1回
	喀痰細胞診検査 (任意)	喫煙指数 (600 以上)
胃がん検診	内視鏡検査	50 歳以上、2年に1回
	胃透視検査	40 歳以上、1年に1回
*早期がんなどの診断の優位性から内視鏡検査をお勧めします		
大腸がん検診	便潜血検査 (2 回法)	40 歳以上、1年に1回
乳がん検診	マンモグラフィー検査	40 歳以上、2年に1回
子宮がん検診 (頸部・体部)	細胞診検査 (体部は任意)	20 歳以上、2年に1回
肝炎ウイルス検査 (B 型・C 型)	抗原・抗体測定	40 歳以上、1 回限り

*同日にがん検診すべて受診可能

当院では、東大阪市以外の地域一 **生駒市 (令和7年4月より乳がん・子宮頸がん検診)**、**大東市 (令和7年10月1日より5大がん検診ー肺・胃・大腸・子宮頸がん・乳がん検診)** を受けることが可能になりました。これまで以上に、より積極的に近隣地域住民の健康維持に寄与できると考えます。



健診から精密検査・治療



石切生喜病院では、がんの**早期発見**から**精密検査・治療**までサポートしています！



○外来にて専門科による精密検査や治療をスムーズに受けられる体制
○市がん検診の精密検査医療機関・大阪府がん診療拠点病院に指定：東大阪市・大東市・生駒市だけでなく、それ以外の市で行われたがん検診の精密検査も積極的に受け入れております。

最後に

今後もスタッフ一同、より多くの地域住民の方の健康維持・増進に貢献できるよう務めていきたいと考えております。当院健診センターにお気軽にご連絡・ご相談ください。当職員によるコースなどの説明やその方の希望に応じた適切なアドバイスなどさせていただきます。

石切生喜病院 健診センター | お問い合わせ ご予約 TEL 072-986-3604

電話受付▶月～金 8：45～17：00 (土曜は 11：00 まで)
休業日▶日曜・祝日・年末年始

～ 救急車を呼ぶサイン～

救急車って どんな時に 呼んだらいいの？

香芝生喜病院 手術室 主任 小村 麻里子

香芝生喜病院認定看護師は9月21日に穴虫西自治会館で市民講座を開催しました。

第1回となる今回は住民の皆様から講座内容の希望をお聞きし、「救急車を呼ぶサイン」にしました。そこでクリティカルケア認定看護師の寶師長がどんな症状がでたら救急車を呼べばいいのか等を講演しました。

『救急車はタクシーじゃありません』そんなポスターを駅などで見かけるようになりました。救急搬送の約半数が入院加療を必要としない軽症ということで、全国で適正利用を呼びかけられています。

そのため、「どんな時に救急車を呼べばいいのか？」と悩まれる方も多いのではないのでしょうか。

医療の専門知識がない場合、軽症なのか重症なのか判断つきません。特に昨今の救急車の適正利用の話を知ると呼びにくくなります。そんな時のために、相談窓口として#7119の紹介も行いました。急なケガや病気



で救急車を呼ぶべきか、今すぐ病院へ行ったらいいのか判断に迷った際、医療スタッフが24時間対応してくれます。救急車の利用に迷った際は活用してください。

そして講演会のあとは、医師・認定看護師による相談会を実施しました。骨密度測定や血圧測定、普段の食生活から塩分チェックなど健康に関する相談をお受けしました。

病院は、“病気を治すところ”になりますが、まずは病気にならない健康づくりが何より大切です。

当院の認定看護師として継続的に地域の健康増進活動の場を広げていきたいと思っています。その1歩として香芝生喜病院の外来にて健康相談会（けんこうフェスタ）を開催しております。開催日は当院HPにお知らせしていますので興味のある方は予約不要、無料なのでぜひお立ち寄りください。



かしばのしごと展 2025

香芝生喜病院 看護部
部長 仲 久美



こんにちは。香芝生喜病院看護部です。
私たちは令和7年11月23日(日)、香芝市ふたがみ文化センターで開催された「かしばのしごと展2025」に参加しました。

「かしばのしごと展」は、香芝市内の産業や企業の魅力を市内外に発信するとともに、市民と企業、また企業同士の交流を深めることを目的とした催しです。特に、次世代を担う子どもたちが仕事体験を通じて地域の役割を知り、将来につなげる機会として開催されています。

当院の参加は昨年に続き2回目となりました。今回は7月から計3回の事前打ち合わせを行い準備を進めました。今年は新たに保育士1名が加わり、ブースの飾り付けや紙芝居を用いた手洗い指導を行うなど、より充実した内容となりました。

当日はキッズサポーターとして当院看護師の子どもたち5名と最終確認を



行っただうでイベントを開始しました。

参加した子どもたちはユニフォームに着替え、藤井会広報大使「いしきりん」とのフォトコーナーでの写真撮影後、心音聴取、モニター装着、採血・注射体験、傷の処置や包帯固定など、看護師の仕事を体験しました。次第に緊張もほぐれ、楽しそうに取り組む姿が印象的でした。

当日は香芝市在住の子どもたち延べ890名が来場し、当院ブースには6名ずつ6グループ、計36名が参加しました。全グループが満席となり、医療への関心の高さを感じる結果となりました。また、香芝高校ボランティア部の生徒3名にも案内役としてご協力いただき、高校生との交流の場にもなりました。

なお、看護部は救急時対応の役割も担っていたため、「しごと体験の運営」と「急変時対応」の両面を意識しながら一日を通して対応しましたが、幸い救急対応はなく、無事に終了しました。

今回の参加を通じて、地域とのつながりを深めるとともに、急性期病院としての役割を改めて認識する機会となりました。

今後も地域に根ざした医療機関として、地域貢献活動に取り組んでまいります。

石切生喜病院の薬剤室は自動調剤棚「mille」を導入しています。これは処方箋に記載された薬剤を自動的に払い出す調剤支援機器です。milleには約330品目の薬品が充填されており、従来は調剤室を歩き回りながら行っていた調剤を2～3歩の移動だけで完結できるようになりました。



また、milleと同時に導入された計数調剤管理システム

「F-WAVE」は、調剤をバーコードで管理するハンディタイプの調剤支援機器です。処方箋のバーコードを読み込むと調剤する薬剤の総数が表示され、該当する薬剤のバーコードを機器で読み込むことで調剤が完了します。

milleとF-WAVEの導入により、調剤にかかる時間を大幅に短縮しながら、調剤中に起こりやすい類似薬品や複数規格の取り間違いなどをより高度に防止できるようになりました。

さらに、石切生喜病院では医師の指示に基づき、患者さまが服用しやすいよう薬剤を一包化する調剤も行っています。一包化された薬剤の監査はミスが起こりやすく、慎重で時間のかかる

確認が必要です。そこで、当院では錠剤一包化監査支援システム「MDM」を導入しました。このシステムは一包化された薬剤を一包ずつカメラで撮影し、種類と数を自動で判別します。同時に錠剤の破損などのチェックを行い、カメラ撮影後はエラー表示がでた包装を画像で確認し、間違いを防止します。

石切生喜病院ではこのような機器やシステムを導入することで業務の効率化を図り、正確性と迅速性を両立して、お薬の待ち時間を安全に少しでも短縮できるように尽力しています。今後も患者さまに安全で質の高い医療を迅速に提供できるよう努めてまいります。



冬が旬

青菜

青菜とは、一般的に特定の食材の名称ではなく、下記の野菜などの葉物野菜の総称の事です。青菜は通年買うことができますが、寒くなる冬を旬とする野菜です。

大東中央病院 管理栄養士 入来 和花

ほうれん草

ほうれん草は、ビタミンやミネラルを豊富に含む代表的な緑黄色野菜です。葉酸や鉄分が多く含まれているため、貧血予防の対策としても知られています。特に冬採りのほうれん草は、夏採りのほうれん草と比較し、ビタミンCを約3倍も多く含み、寒さにより“寒締め”されているため、甘みを増しているのが特徴的です。また、骨の健康や、血液凝固に重要なビタミンKも多く含まれています。



小松菜

小松菜は、野菜の中でもトップクラスのカルシウムを含む



緑黄色野菜です。100gあたり170mg含まれており、これはほうれん草の約3倍にあたります。一日のカルシウム目標摂取量は600～800mgなので、一日の1/4程度のカルシウムが摂取できることがわかります。

※牛乳コップ一杯分(約200ml)あたりに含まれるカルシウム量は約220mg



緑黄色野菜の定義は、可食部100g当たりβ-カロテン含有量が600μg(マイクログラム)以上の野菜とされています(厚生労働省より)。β-カロテンとは、体内でビタミンAに変わる栄養素のことです。1日の野菜摂取目標量350gのうち、120gを緑黄色野菜から摂ることが理想とされています。

緑黄色野菜とはなに？

栄養を損なわないコツ

ビタミンCは水溶性のビタミンであるため、水に溶けやすい性質を持っています。そのため調理する際に下茹ですると、ビタミンC含有量が1/2程度に減ってしまうとされています。サラダやスープにしたりすると栄養素を逃さずに摂りやすいです。最近流行りの蒸し料理にするのもおすすめです。ただし、ほうれん草のようにシュウ酸と呼ばれるえぐみや渋みの強いアクが含まれており生食に適していない野菜もあるため注意が必要です。

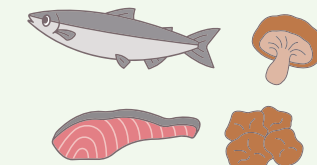


ビタミンKは脂溶性のビタミンであるため、油に溶けやすい性質を持っています。油を使用した炒め物や、オイル入りのドレッシングをかけるなどの調理法で吸収率を上げることができます。



また、カルシウムの吸収を高めるには、ビタミンDが豊富に含まれている魚類、キノコ類と組み合わせることが効果的です。

※脂溶性ビタミン：ビタミンA、D、E、K
※水溶性ビタミン：ビタミンB群、C





石切生喜病院 リハビリテーション室を 紹介します！

石切生喜病院 リハビリテーション室 室長 渡り 祐典

石切生喜病院リハビリテーション室には理学療法士、作業療法士、言語聴覚士とクラークが在籍しており、総勢42名で活動しています。

■ **理学療法士**：病気やケガ等で障害が生じた身体機能の回復や維持、障害の悪化の予防を目的に運動療法を実施しています。



■ **作業療法士**：食事やトイレ、歯磨き、着替え、家事等の日常動作だけでなく仕事や趣味といった、その人らしい生活が送れるよう治療や支援を行っています。

■ **言語聴覚士**：病気やケガによって生じた言語や高次脳機能（記憶や注意力など）の障害に対しトレーニングを行っています。また、嚥下障害（飲み込みの障害）のリハビリも行っています。

病気やケガにより入院された患者さまに対し機能回復を目指すと同時に、入院期間中の体力の衰えを予防するための取り組みも行っています。特に高齢の方は数日の入院でも体力が低下し、退院後に元の生活に戻るまでに時間がかかることがあります。そのため入院期間中になるべく体力が落

ちないようにトレーニングを行っています。

リハビリを行う時間は限られているため、それを補う目的で自主トレ用のパンフレットを作成し、必要に応じて配布しています。個々の患者さまの状態に合わせて自主トレメニューを考えて提案しています。

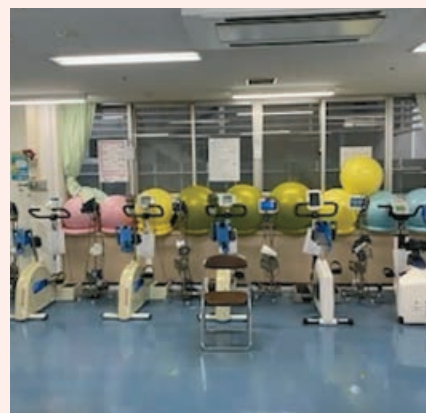


また、当院のリハビリの特徴として、専門性に特化したリハビリを目指すべく以下の疾患別チームを編成しています。

- **運動器チーム**：骨折や骨・筋の疾患に対応
- **脳血管チーム**：脳卒中の後遺症に対するリハビリを行う
- **呼吸器チーム**：主に肺疾患患者の呼吸機能向上を目指す
- **がんリハビリチーム**：がん患者へのリハビリや入院後の体力低下を予防する
- **心臓リハビリセンター**：心疾患患者に対し運動療法を行う

チーム同士の連携だけでなく医師や看護師、ソーシャルワーカーといった様々な職種のスタッフと連携し患者さまをサポートしています。

今後も患者さまの力になれるよう、日々切磋琢磨しています！



運動参観

● にこにこ保育園 吉岡 奈央

10月18日、にこにこ保育園で運動参観が行われました。

いつもと違った雰囲気緊張した様子で登園する子どもたちでしたが、色々な競技に頑張っており取り組んでくれました！

まず初めに、保護者の方と一緒に「親子で体操 サンサン体操」をしました。ママに抱っこしてもらいながら体操をする子どもや、練習通り上手に体操をする子どももいて楽しむ姿が見られました♪

乳児クラス0歳児の競技「ハイハイレース」では、蝶々やてんとう虫の衣装に変身して、卵からママと登場しました。少し寄り道し泣いてしまうこともありましたが、無事にゴールすることが出来ました！

かけっこでは、ゴールで待っているママやパパに向かって一生懸命走る子どもたち！大好きなママやパパに向かっていく姿はとても笑顔で印象的でした😊

乳児クラス「だるまさんとおともだち」では、だるまさんの衣装を着た子どもたちが保護者の方といちごさんにぺこりと挨拶をしたり、バナナさんの滑り台を滑ったり、メロンさんにぎゅーっと抱き着く可愛い姿が見られ、滑り台が大好きな様子で、スタートから滑り台を滑る子どももいました！



幼児クラス「ジャングルクルーズ」では、ジグザグ道を進み、一本橋を渡り、フープをジャンプし、ネットをくぐります。そして、うさぎ・さるのうち好きな動物を選びご飯を食べさせた後、その動物に変身してゴールしました。一人で上手に障害物を乗り越え、ゴールすることが出来ていました。

「くだもの狩りへGO」では、子どもたちと保護者の方が一緒に山を登り、虹のトンネルを通りました。そして、りんご・バナナ・ぶどう・みかんの中から何を選ぶか迷いながら、カゴに入れてうさぎさんの口へと運ぶ姿はとても可愛らしかったです。

最後に「玉入れ」では、白チームと赤チームに分かれ、パパやママに抱っこしてもらいながら玉入れをしました。2回戦とも接戦で、手にいっぱい玉を持って上手に入れることが出来ました。

保護者の方々の声援や子どもたちの賑やかな声がホール中に響き渡り、とても楽しい運動参観となりました！



淡路島

法人本部 広報課 志智 美波



東大阪市から車で高速道路を利用すると、約1時間40分で到着できる淡路島をご紹介します。淡路島の人口は約13万人で、日本の離島の中では沖縄本島に次いで2番目の規模を誇ります。温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、古くから「御食国」と呼ばれるほど食材に恵まれた地域であり、観光地としても高い人気があります。今回は、淡路島へ向かう際にぜひ立ち寄っていただきたいスポットをご紹介します。

まず、兵庫県神戸市垂水区にある「フィエスタ」です。店内の窓際席からは明石海峡大橋を望むことができ、開放的な景色を楽しめます。ランチではパスタやピザをいただきましたが、どの料理も美味しく、季節の装飾が施された店内は落ち着いた雰囲気でした。人気店のため、来店の際は



フィエスタランチ



シャインマスカット飴



濃厚なオレンジジュース



046cafe

予約をおすすめします。同じ道沿いには、海を眺めながらくつろげるスターバックスもあり、時間帯によって異なる海景色を楽しめます。新作登場時には試飲や試食を実施していることもあり、スタッフの丁寧な接客も印象的でした。

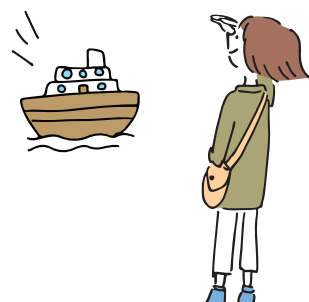
そこから車を1時間弱走らせ、淡路島を代表する史跡「洲本城跡」を訪れました。

洲本城は、淡路島中央の三熊山山頂に築かれた山城で、国の文化財にも指定されています。築城は戦国時代とされ、当時、海上交通の要衝であった淡路島の防衛拠点として発展しました。山頂の本丸跡からは洲本市街や紀淡海峡が一望でき、城がいかに戦略的に築かれたかを実感できます。

洲本城は大永6年（1526）、淡路水軍を率いた安宅氏によって築かれたと伝わります。のちに天



洲本八景



正13年（1585）、脇坂安治が入城し、現在も残る総石垣の堅固な城へと改修されました。脇坂氏が伊予大洲へ移った慶長14年（1609）に廃城となりますが、その壮麗な構造は今もなお威容を伝えています。

また、洲本城の大きな見どころとして、全国でも数例しか確認されていない

「登り石垣」があります。山の斜面を縦方向に登るように築かれた防御施設で、戦国期の高度な築城技術を間近で体感できます。さらに、山頂から中腹にかけて城全体を包む「総石垣造り」の石垣群も圧巻で、洲本城跡を訪れる際の大きな魅力となっています。

城跡へは駐車場から坂道と階段を上って向かいますが、その先には広がる絶景が待っています。石垣の遺構やかつて城内へ続いたとされる階段跡も残されており、歴史的な趣を感じながら散策することができます。また、駐車場へ戻る途中には一軒のカフェがあり、濃厚なオレンジやシャインマスカットの飴など、休憩にぴったりのメニューも楽しめました。

その後、洲本城跡から車で30分ほど走り、洲本市にある「大六珈琲」（五色町漁業協同組合）を訪れました。こちらは2023年1月、漁業施設をリノベーションして誕生したカフェで、日本初導入のグラインダーや国内でも数台しかないエスプレッソマシンが使用されています。コーヒーだけでなく、洋菓子やパンにもこだわりがあり、フランスで修業したパティシエが手がけるスイーツはどれも絶品でした。

カフェラテを注文した際には、美しいラテアー



洲本八景



洲本城跡

トを披露していただき、機械やスチームによる味や質感の違いについても丁寧に説明してくださいました。さらにラテアート体験までさせていただき、スタッフの温かさに触れる素敵な時間となりました。周辺を散策すると人懐っこい猫にも出会い、来客に寄り添うように歩く姿がとても印象的でした。

また訪れたいと思えるほど魅力的なお店でしたので、淡路島へお出かけの際は、ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



大六珈琲

石切生喜病院における 高齢肺癌患者さまの治療

石切生喜病院 呼吸器腫瘍内科 部長 平島 智徳

東大阪市の高齢化率(28.1%)は府平均より高く、当院でも高齢肺癌患者さまが増加しています。65歳以上の高齢肺癌患者さまの治療では、フレイル(予備能力の低下、脆弱性の亢進)への対応が極めて重要です。フレイル患者さまは治療による副作用や合併症が悪化しやすいためです。このため、当院の呼吸器センター(呼吸器内科、呼吸器外科、放射線治療科、呼吸器腫瘍内科)は、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士からなる多職種チームを結成し、高齢肺癌患者さまの治療にあたっています。

具体的には、G8(高齢者機能評価ツール)や栄養スクリーニング、身体機能測定に基づき、個別の状態を詳細に把握し、治療に活かしています。2022年11月からの3年間で、G8で評価した65歳以上の高齢肺癌患者さま306名を治療し、80歳以上の患者さまにも手術や薬物療法を大きな問題なく実施できています。表1と図1に示す通り、加齢とともにG8でのフレイル割合が増加傾向にあり、筋力低下や体重減少などフレイルが強くなる傾向が見られま

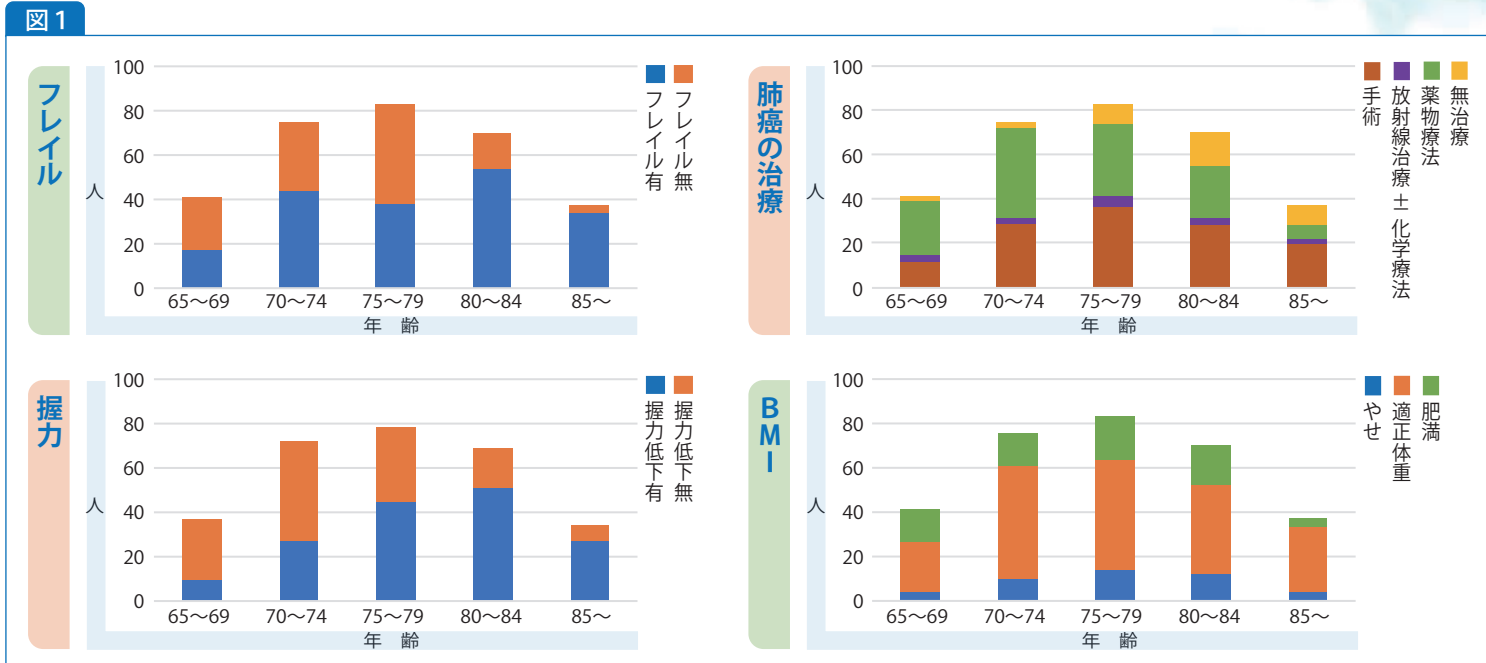
す。そのため、治療適応は慎重に検討しつつ、チーム医療で身体機能・栄養の低下を最小限に抑えるよう努めています。

また、認知機能低下患者さまの増加や、認知障害と身体機能低下の連動が報告されていることを踏まえ、入院・外来を問わず身体機能低下を防ぐことが今後の重要課題です。

表1 年齢階層ごとの臨床背景

		年齢階層(人)					
		全体	65~69	70~74	75~79	80~84	85~
合計		306	41	75	83	70	37
性	女	103	16	23	24	33	7
	男	203	25	52	59	37	30
G8	>14.0	119	24	31	45	16	3
	≤14.0(フレイルあり)	187	17	44	38	54	34
治療	手術	127	12	29	37	29	20
	放射線 ± 化学療法	16	3	3	5	3	2
	がん薬物療法	125	24	40	32	23	6
	無治療	38	2	3	9	15	9
握力	低下なし	132	28	45	34	18	7
	低下あり	159	9	27	45	51	27
	データなし	15	4	3	4	1	3
BMI	18.5未満(やせ)	44	4	10	14	12	4
	18.5以上、25.0未満	195	23	51	50	41	30
	25.0以上(肥満)	67	14	14	19	17	3

握力低下：女性 <18.0kg, 男性 <28.0kg; BMI：体格指数 = 体重(kg)/[(身長(m))²]



施設管理課

香芝の皆さん

ふじいっこ

ふじいっcoとは、藤井会で働く人々にスポットを当て、日常や職場の雰囲気を写真で紹介する企画です。

みくりや診療所 事務員さん

北河内藤井病院 薬剤師さん

藤井会東大阪看護学校 事務員さん

藤井会東大阪看護学校

みくりや診療所 理学療法士さん

北河内藤井病院のみなさん

第27回 大東わからん会 開催

大東中央病院 総務課



大東中央病院では、令和7年9月20日(土)に大東わからん会を開催致しました。

当会は、大東市近隣地区の病院連携の活性化を目的として平成16年より、毎年当院で開催しております。



今回は、当院のリウマチ外来診察に来て頂いております、織田一貴先生、岡野匡志先生にWEB配信形式で講演をして頂き、近隣地域の医療機関の先生方や職員の方に参加して頂きました。

【座長】 宗教法人在日本南プレスビテリアンミッション 淀川キリスト教病院 医長 織田 一貴 先生

【講演】 16:00~17:00
『Goal-directed treatmentによる骨粗鬆症の管理と神経障害性疼痛の話題
～リウマチ診療医の立場から～』

【演者】 公立大学法人大阪公立大学医学部附属病院 整形外科 特任教授 岡野 匡志 先生

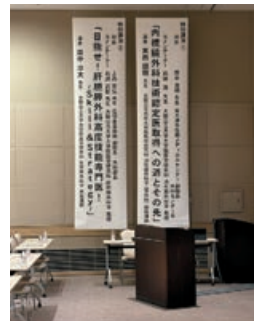
ハンズオンセミナー／第3回 なにわ消化器外科治療セミナー
～専門医取得を目指した手術手技～

石切生喜病院では、令和7年10月11日(土)大阪市内にてハンズオンセミナー/第3回 なにわ消化器外科治療セミナー ～専門医取得を目指した手術手技～を開催いたしました。



【ハンズオンセミナー】
腹腔鏡下手術の各操作シーンにおける安全なデバイス操作、縫合操作の習得を目的とし、ハンズオンセミナーが開催されました。

当院から、外科を志望する研修医が参加し、実際にモデルを使用し手技を行いながら鏡視下縫合実習、腹腔鏡下胆嚢摘出術、腹腔鏡下S状結腸切除術を体験しました。



【第2回 なにわ消化器外科治療セミナー】
～専門医取得を目指した手術手技～



無料 石切生喜病院 出張市民講座 開講



◆循環器内科「胸の痛みや息切れは、サインかも？」

令和7年10月27日(月)東大阪市 新池島町自治会館にて当院 循環器内科 副部長 松岡 雄治郎 医師による市民講座「胸の痛みや息切れは、サインかも？」を開講いたしました。



◆リハビリテーション室「腰の曲がりに気づこう！」

令和7年11月11日(火)東大阪市 宝箱自治東会館にて当院 リハビリテーション室 理学療法士 竹内・森本による市民講座「腰の曲がりに気づこう！」を開講いたしました。

◆脳神経外科「気づこう！脳からのSOS!!」

令和7年11月17日(月)東大阪市 島之内一丁目 第一集会所

にて当院 脳神経外 副部長 鶴田 慎 医師による市民講座「気づこう！脳からのSOS!!」を開講いたしました。

◆リハビリテーション室「フレイル予防！」
令和7年11月21日(金)東大阪市 アルカディア式番館にて当院 リハビリテーション室 理学療法士 主任 柴田・副主任 麻生による市民講座「フレイル予防！」を開講いたしました。

今後も地域の皆さまの健康づくりを支援する目的として出張市民講座を行って参ります。

ご要望がありましたら石切生喜病院ホームページ内お問い合わせフォームよりお気軽にお問い合わせください。



第7回 石切地域病診連携の会

石切生喜病院では、令和7年11月1日(土) シェラトン都ホテル大阪3階「金剛の間」にて第7回 石切地域病診連携の会を開催いたしました。近隣地域の医療機関の先生方や藤井会職員など70名程の方々にご参加いただきました。



三木友一朗先生 松田恭典先生 山村匡史先生



大東中央病院 安全祈願祭

令和7年11月19日、大東中央病院では、南棟の完成・稼働開始を受け、大東中央病院北棟の改修工事に先立ち、安全祈願祭を執り行いました。当日は、理事長をはじめとする関係者が参列し、工事期間中の無事故と施設のさらなる発展を祈念しました。

今回の改修工事は、患者さまがより快適で安心して利用できる環境を整えることを目的としており、南棟との連携を強化しながら、今後の医療体制の充実を図る重要な取り組みとなります。

引き続き、工事期間中は安全対策を徹底するとともに、患者さまや地域の皆さまへのご迷惑を最小限に抑えるよう努めてまいります。工事完了まで、皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



第3回 石切生喜病院 救急ホットラインカンファレンス

石切生喜病院では、令和7年11月17日(月)医療法人藤井会 法人本部棟にて第3回石切生喜病院 救急ホットラインカンファレンスを開催いたしました。

救急医療は、迅速な判断・搬送が必要となります。今回のカンファレンスでは救急隊の皆さまへの医療情報の提供と病院との連携を深めることを目的として開催され、地域の救急隊員や藤井会職員(会場40名・WEB65名)にご参加いただきました。今後も地域の救急隊の皆さまとの連携を図るべく年2回開催し「安全で質の高い地域医療」を提供してまいります。



藤井会東大阪看護学校 戴灯式

令和7年11月26日(水)、藤井会東大阪看護学校で開校後初となる「戴灯式」が講堂にて厳かに執り行われました。午前は准看護学科32名、午後は看護学科37名が参加し、看護への志を新たにす大切な節目となりました。来賓として藤井理事長、石切生喜病院 坂本看護部長、藤井会リハビリテーション病院 浅越看護部長が出席し、学生たちへ温かい激励が贈られました。また、多くの保護者にもご参列いただき、見守られる中で学生たちは誇らしげに灯を受け取りました。今西学校長の挨拶では、「ナイチンゲールの「患者さんをよく観察することの大切さ」が紹介され、学生たちは看護の原点に立ち返る思いで耳を傾けていました。初めての戴灯式を経て、学生たちは臨地実習や国家試験に向け、より強い決意を胸にしました。本校は、今後も地域に貢献できる看護人材の育成に努めてまいります。



リレー 随筆



ご縁があつて当法人に経理部職員として入職してから、あっという間に1年が過ぎていきました。初めての経理業務に加え、医療法人ならではの専門用語も多く、最初は戸惑うことばかりでした。それでも、経理部の先輩方をはじめ、法人本部の皆さんがいとも優しくアドバイスをくださり、不安は少しずつ自信へと変わっていきました。まだ学ぶことは尽きませんが、支えてくださる方々への感謝を胸に、これからも一歩ずつ成長していきたいと思ひます。

法人本部 経理部 I・T





医療法人 藤井会

《シンボルの由来》全体のイメージは藤井会のF。愛情・信頼・奉仕を表現しています。

医療法人 藤井会 <https://www.fujiikai.jp/>

石切生喜病院	〒579-8026 東大阪市弥生町18番28号 TEL 072(988)3121 https://www.ishikiriseiki.or.jp
大東中央病院	〒574-0042 大東市大野2丁目1番11号 TEL 072(870)0200 https://daito-central-hp.com/
香芝生喜病院	〒639-0252 奈良県香芝市穴虫3300番地3 TEL 0745(71)3113 https://www.kashibaseiki.fujiikai.jp
北河内藤井病院	〒575-0003 四條畷市岡山東3丁目1番6号 TEL 072(879)5311 http://www.kitakawachi.fujiikai.jp/
藤井会リハビリテーション病院	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 TEL 072(983)7811 https://www.fujiikai-reha.jp
枚岡病院	〒579-8034 東大阪市出雲井本町3番25号 TEL 072(982)1125 https://hiraokahosp.com/
藤井外科	〒579-8004 東大阪市布市町3丁目6番21号 TEL 072(985)3051 http://www.fujiigeka.fujiikai.jp/
みくりや診療所	〒577-0034 東大阪市御厨南2丁目6番3号 TEL 06(6787)2508 http://www.mikuriya.fujiikai.jp/
深江クリニック (人工透析センター)	〒537-0002 大阪市東成区深江南3丁目22番13号 布施口ビル2階・3階 TEL 06(6977)2955 https://www.fukaeclinic.jp/
住道クリニック (人工透析センター)	〒574-0046 大東市赤井1丁目13番1号 ポップタウン住道1番館1階 TEL 072(872)9555 https://www.suminodoclinic.jp/
藤井会新石切デイサービス	〒579-8014 東大阪市中石切町1丁目8番22号 TEL 072(987)5005 http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/
藤井会ケアプランセンター	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 藤井会リハビリテーション病院1階 TEL 072(983)7806 http://www.shinishikiri.fujiikai.jp/care/
藤井会訪問看護ステーション	〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号 TEL 072(983)7622 http://www.houmonkango.fujiikai.jp
看護多機能施設さくら	〒579-8026 東大阪市弥生町20番20号 TEL 072(983)7633 http://www.kantaki.fujiikai.jp
藤井会福祉用具レンタルサービス	〒579-8026 東大阪市弥生町17番6号 藤井会リハビリテーション病院1階 TEL 072(983)7807 https://fukushi-rent.fujiikai.jp
香芝訪問看護ステーション 藤井会香芝ケアプランセンター	〒639-0252 奈良県香芝市穴虫54番地1 フレグローニ上1階 TEL 0745(43)5535 https://www.houmonkango-kashiba.fujiikai.jp/
学校法人藤井会 東大阪准看護学院	〒577-0843 東大阪市荒川2丁目32番43号 TEL 06(6720)0307 https://www.junkango.ac.jp/
藤井会東大阪看護学校	〒579-8027 東大阪市東山町14番39号 TEL 072(920)7287 https://www.fujiikai-hkg.jp/

藤井会グループ案内図

